

平成30年度 佐世保市早岐地域包括支援センター事業計画

1. 地域包括支援センター事業計画について

佐世保市早岐地域包括支援センターは、地域包括支援センター運営事業を実施するにあたり、市が示す仕様書、事業実施マニュアル、運営方針を遵守するとともに、本事業計画の内容を踏まえ、事業を推進します。

2. 地域の現状と課題

担当地区	現状と課題
宮・広田地区	宮地区は長年住んでいる方が多く高齢化率が高い中、地域住民のつながりが深く、助け合いの意識も高い地域。自治協議会を中心とした地域活動、老人クラブやサロン活動などが熱心に行われている。交通の利便性は他と比較して高くない地区も多く買物や通院など日常生活上不便な面もみられる。広田地区はショッピングモールもあり、買物など日常生活を送る上で利便性が高い地域。新興住宅が建ち若い世代が多いことから、昔ながらの関係が若干薄い面がみられることもあり、地域活動などで交流をもち世代間で支えあうまちづくりを推進されている。
三川内地区	高齢化率が高い中において地域住民のつながりが深く地域行事も盛んな地域。民生委員や地域の方が中心となり、高齢者の方の閉じこもり防止や介護予防を目的としたサロン活動が熱心に行われている。自治協議会が中心となり認知症をテーマにした映画を地区公民館で上映されるなど地域での助け合いに対する意識も高い。
針尾・江上地区	針尾地区は高齢化率が高い中、老人クラブが減少傾向にあることから、民生委員の方などが中心となり新たにサロンを立ち上げられるなど、身近な場所で交流できる集いの場を推進されている。また、自治協議会を中心に高齢者の見守りなど支えあう地域づくりへの意識も高い。江上地区は自治協議会を中心に地域行事や食事会、老人クラブ活動などが熱心に行われている。地域住民による身近な場所への通いの場づくりや支え合いに取り組まれる中、公民館までの距離が遠い高齢者に対する移動手段などの問題もみられる。
早岐地区	日常生活を送る上で交通の便が良く、スーパーや病院なども多く社会資源が充足している地域。公民館活動や身近な場所での住民主体の介護予防の取り組みも盛んに行われている。公営住宅に長年住む高齢者夫婦や高齢者のみの世帯も多く、地域で孤立している方もみられることもあり民生委員の方による見守活動が熱心行われている。

3. 独自の取り組み事項

	業務	取組み内容
	地域での介護予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブや自治会など積極的に地域に出向き、介護予防講話などを通して、高齢者をはじめとしたあらゆる世代の方が介護予防や健康増進に関する意識を高め、セルフケアや地域活動において自発的・継続的に介護予防に取り組んでいただけるよう支援を行います。 ・継続して介護予防に取り組める環境の構築に向け、公民館など自宅から歩いていけるような身近な場所での「いきいき百歳体操」や「サロン活動」を普及啓発します。その際、地域の事業所やリハビリテーション専門職の方などと連携をとり、介護予防効果の説明や実際に体験していただく機会を多くもてるよう取り組みます。 ・介護予防をはじめ、生きがいや仲間づくりなどが期待できる身近な場所での住民主体の通いの場などが、高齢者の方に対する日常生活に必要な支援や見守りなど地域の支え合い活動につながるよう取り組みます。 ・地域の生活支援体制整備に向け、民生委員や自治会、ボランティアなど世代間を通した方々、生活支援コーディネーターなどと連携をとり地域資源やインフォーマルサービスの把握と構築に努めます。
包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用を希望される相談に対しては、家庭訪問などを通して心身状況や家屋などの生活状況を把握し適切な支援につなげます。ケアプラン作成にあたってはアセスメントを実施し、自助努力を基本としながら、地域活動やインフォーマルサービスを活用し自立支援の視点を持ったケアマネジメントを実践します。 ・医療と介護の支援が必要となる高齢者の方が、出来る限り住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、医療機関・訪問看護・介護事業所など多職種連携による支援を行います。 ・地域ケア会議を通して地域や関係機関の方との更なる連携強化を図るとともに、事例報告による成功体験の共有化などにより地域課題の把握と解決に取り組みます。また、個別ケースにおいてはご本人の有する能力の維持・向上を目指す自立支援を重視したケアプラン作成に向け理学療法士など専門多職種と協働で検討を行います。 ・地域のケアマネジャーや介護事業所との意見交換会や事例検討会を通して更なる連携強化や全体的なスキルアップを図ります。また、ケアマネジャー業務に関連する情報提供や困難ケースへの助言など必要に応じた支援を行います。
	認知症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の方への見守り体制づくりに向け、小・中学生などの若い世代、自治協議会などの地域組織、地域で関わる人が多いスーパー・金融機関の職員の方などを中心に、認知症を正しく理解し地域で活動する「認知症サポーター」を普及啓発します。 ・認知症のために行方不明になる恐れのある高齢者の方に対しては、民生委員の方や警察署などとの情報共有とともに、万一行方不明になった場合の早期発見が期待できる認知症高齢者見守り事前登録制度を積極的に活用します。また、定期的なモニタリングにより地域の方などと連携を図り見守りなど必要な支援を行います。 ・認知症になっても安心して生活を送れる地域づくりに向け、認知症と思われる方への声の掛け方や対応の仕方などを地域の皆さんに学んでいただけるような「認知症高齢者徘徊捜索模擬訓練」の実施を検討します。 ・認知症高齢者とそのご家族が地域や専門職の方と気軽に交流ができ、情報交換や負担軽減の効果が見込まれる「認知症カフェ」の開設や運用の支援に向け、事業所やボランティアグループへの協力を働きかけながら地域の実情に応じた支援に取り組みます。

町別高齢者人口等（早岐地域包括支援センター）

（H29.10.1現在 単位：人）

圏域	町名	人口	高齢者数	75歳以上	要介護	要支援
宮	南風崎町	888	246	124	43	15
	城間町	394	187	98	28	14
	瀬道町	315	116	58	19	6
	萩坂町	227	115	67	19	9
	奥山町	274	100	62	13	11
	長畑町	418	172	90	33	13
	宮津町	546	193	90	25	14
	合計	3,062	1,129	589	180	82
	高齢化率	36.9%				
広田	中原町	583	171	77	26	15
	広田町	879	107	46	9	2
	重尾町	2,513	285	131	36	15
	浦川内町	662	134	63	19	7
	崎岡町	2,105	361	164	32	28
	広田1丁目	1,642	341	141	29	21
	広田2丁目	729	106	40	13	6
	広田3丁目	2,690	325	116	36	22
	広田4丁目	387	60	27	9	3
	合計	12,190	1,890	805	209	119
	高齢化率	15.5%				
三川内	桑木場町	731	319	182	54	21
	新替町	51	24	13	3	1
	三川内本町	600	153	73	21	13
	口の尾町	332	99	55	13	9
	吉福町	157	55	32	5	8
	横手町	162	65	31	6	4
	心野町	128	43	19	2	3
	木原町	452	173	94	21	16
	江永町	224	90	54	8	9
	新行江町	390	161	92	36	4
	塩浸町	241	90	43	14	4
	三川内町	544	238	123	29	15
	下の原町	117	54	33	9	5
	合計	4,129	1,564	844	221	112
高齢化率	37.9%					
針尾	針尾東町	897	273	147	47	19
	針尾中町	712	256	156	42	14
	針尾西町	674	264	153	74	10
	針尾北町	400	165	89	28	9
	合計	2,683	958	545	191	52
	高齢化率	35.7%				

町別高齢者人口等（早岐地域包括支援センター）

（H29.10.1現在 単位：人）

圏域	町名	人口	高齢者数	75歳以上	要介護	要支援
江上	有福町	3,998	986	442	91	72
	指方町	1,300	341	174	46	27
	江上町	1,138	400	232	81	25
	ハウステンボス町	616	121	49	4	2
	合計	7,052	1,848	897	222	126
	高齢化率	26.2%				
早岐	権常寺町	4,630	1,308	626	136	94
	田の浦町	1,393	212	93	29	16
	勝海町	897	153	82	37	17
	陣の内町	1,099	358	190	36	20
	上原町	1,535	331	174	51	23
	平松町	184	79	42	11	5
	早苗町	2,363	764	447	84	65
	花高1丁目	1,396	497	272	37	38
	花高2丁目	1,213	398	212	43	28
	花高3丁目	1,952	497	179	34	47
	花高4丁目	858	427	227	31	18
	早岐1丁目	683	182	98	21	15
	早岐2丁目	866	300	159	29	28
	早岐3丁目	248	78	44	7	10
	権常寺1丁目	565	124	66	17	7
	若竹台町	1,791	445	161	40	19
	合計	21,673	6,153	3,072	643	450
	高齢化率	28.4%				
総合計		50,789	13,542	6,752	1,666	941
早岐圏域高齢化率		26.7%				

平成30年度 佐世保市日宇地域包括支援センター事業計画

1. 地域包括支援センター事業計画について

佐世保市日宇地域包括支援センターは、地域包括支援センター運営事業を実施するにあたり、市が示す仕様書、事業実施マニュアル、運営方針を遵守するとともに、本事業計画の内容を踏まえ、事業を推進します。

2. 地域の現状と課題

担当地区	現状と課題
日宇地区	<p>【大和町】西大和：福石小学校区にて日宇圏域との交界りが少ない。新しい地区公民館があるが、坂道が高齢者にとっては妨げとなっており公民館活動への参加者は限られている。民生委員が中心となり介護予防の取組みを始められている。北大和：民生委員、自治会も協力して見守るネットワークができています。公民館活動も盛んで、自治会会報を作成し町内活動の周知を図っている。地域にあるGH施設も行事や活動に参加し合い、良い関係が保っている。東大和：民生委員中心にサロン活動を取り組み継続できてはいるが、月1回の開催頻度は増えておらず自治会全体の活動には至っていない。</p> <p>【白岳町】新興住宅地や大型スーパー近辺にアパートが多い。町内会は未加入で移り住む若い世代も多い。概ね平地でバス通りから離れていても買物しやすい商業施設が多い。1組は老人会がなく自治会としての取組みは弱い。2組では自治会、老人会、民生委員で連携し見守りネットワークを確立、公民館活動も盛んで浸透している。百歳体操は週1回継続。30年度は公民館建替えの為、その間活動縮小にならないよう留意する。</p> <p>【沖新町】高専の敷地が広く民家が少ない。近辺には大型スーパーが多い。</p> <p>【日宇町】黒髪町同様に広範囲で高低差もあり3組に分かれている。一部は大塔小学校区になっている。駅近くの商店街は寂れて他の店も少ない。民生委員が中心となり高齢者の見守りやサロン活動を行っている。1・2組、3組、日宇が丘それぞれの自治会で百歳体操を取り入れ活動中。高台に住まれる方々の移動手段の確保が課題となっている。</p>
黒髪地区	<p>【黒髪町】市内一広い町であり、人口ほぼ8,500人。烏帽子岳ふもとは昔からの地元住民だが、40年程経った住宅地では、その当時様々な方が移住されており、自治会の成り立ちに差異がある。県営住宅もあり7地区に分かれている。高低差もあり交通や買物の利便性が悪い地区もある。それぞれの自治会で公民館活動や地域行事などは行っているが、老人会活動とは一体化していない傾向である。民生委員を中心に個別に見守り活動は取り組まれている。介護予防への意識が徐々に高まり、百歳体操に取り組んでいる団体もあるがニーズに対して不足している。高台に住まれる方々の移動手段の確保が課題となっている。</p>
大塔地区	<p>【卸本町】民生委員を中心に見守り活動はされているが、集まりの場はできていない。介護予防活動を取組む担い手がいない。卸団地自治会は、住民向けの自治会ではなく登録は企業主体。最近ではアパート建設が増えているが高齢者ほとんどいない様子で、所属自治会が把握できない。</p> <p>【大岳台町】新興住宅地が40年経ち今後も高齢化率は高まると予測される。大きなイベントを年に2回行える結束力があり公民館活動も充実しているが、参加メンバーは限られている。民生委員が中心に季節ごとに独居の方の食事会を開いたり、見守り活動を行っており、見守りネットワークが広がっている。</p> <p>【大塔町】アパートやマンションも多く若い世代が移住されてきている。大型スーパーもあり概ね平地であり買物しやすい。3地区に分かれており、世帯数等の規模が様々で自治会活動も差異がある。小規模な自治会は地域づくりの必要性を実感され、自治会で高齢化対策への取組みをされている。40年以上経つ住宅地では同時期に居住した名残で、顔の見える関係は作れているが、リーダーの担い手がいない現状である。自治会毎にネットワーク作りの後方支援や提案が必要。また、地域づくりの啓発活動を行う必要がある。</p> <p>【もみじが丘町】新興住宅地が新たな一町となり、20年ほど経ってはいるが就労中の方や児童など若い世代が多い。坂道ではあるがバスも通っておりスーパーもある。今後高齢化は確実に進むことが予測される。県営市営住宅もあり人の出入りの把握が難しく、独居や高齢者世帯も増えている。3地区に分かれており経済面等家族構成の差異が大きい。自治会の繋がりが地域で見守っていくネットワーク体制の形成が弱い。</p>

3. 独自の取り組み事項

	業務	取組み内容
包 括 的 支 援 事 業	介護予防ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた地域で健康寿命を延ばし活力ある日常生活が継続できるように、地域住民自身、高齢者自らが、介護予防に取り組みセルフマネジメントできる自助・互助の考え方の普及啓発と、インフォーマルサービス等の情報提供など具体策の提案を行っていく ・高齢者の自立支援を図るために、全職員が適切なアセスメントを行い、より良いマネジメントができるよう、相談対応の手法を学び実践していく ・地域ケア会議や民生委員定例会、自治協議会等において「自立支援の視点や考え方」を発信し、自治会主要職役職の方々や地域関係者にも、理解得られるように普及していく ・居宅介護支援事業所(介護支援専門員)や介護事業所及び専門職種へも、自立支援に資するマネジメントやサービス内容について助言・指導を行う ・自立支援型地域ケア会議を学び、長寿社会課と協同して佐世保市における「地域個別ケア会議」を形づくっていく
	地域のニーズに応じた自主活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域で、サロン活動のリーダーやサポーターとなる人材育成の支援(サロンサポーター育成研修会の後援)と、サロンサポーターや自治会主要職役職の方々と協同して、サロン立ち上げに取り組む ・自治会、老人会等の地域活動へ、百歳体操やコグニサイズなど効果的な運動・認知機能のトレーニングメニューを紹介し、介護予防活動の必要性の啓発と普及推進していく ・現在活動されている自治会、老人会単位の集まりや、取り組まれている百歳体操も継続できるように、圏域の介護事業所や社会福祉協議会と協力し、後方支援を続ける ・各サロンを定期的にモニタリングし、進捗状況に応じて、地域介護予防活動支援事業補助金活用の説明支援や、運営体制などが習熟したサロンについては長寿社会課に相談しながら介護予防日常生活支援総合事業通所サービスB型への転換を推奨していく。 ・地域サロンという定期的な集いの場において、参加者から地域での困りごとを聴取し、地域ケア会議等を活用して地域関係者や生活支援コーディネーター、医療介護専門職等と協働し住民主体の生活支援サービスへと繋げていく ・圏域内の介護支援専門員の定例会において、地域の介護支援専門員と協働で地域アセスメントを実施し、地域ニーズに適応したインフォーマルな社会資源の構築を目指す
	地域ネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの基盤となるよう、各介護事業所等が行っているフォーマルサービス以外の社会貢献活動や地域支援活動と、地域課題やニーズと繋ぎ地域生活に有効となる社会資源の構築を支援する ・病院・医院(歯科や眼科などの専門科外来も含む医療)や薬局、銀行・郵便局、コンビニやスーパー等も地域資源として地域支援活動の必要性の啓発普及を行い、地域課題やニーズと繋ぎ、地域生活に有効となる社会資源の開発を支援する ・地域ケア会議を活用し、圏域全体において相互に顔の見える関係を形成し、異変が早期に発見でき対応や予防できる体制となり、包括へも地域の情報が繋がるよう地域ネットワーク作りを推進する ・地域住民の方々が認知症に関する正しい知識と理解を高めるために、認知症サポーター養成講座開催や講演会や研修等の情報広報して、学ぶ機会を増やす ・地域住民の方々に消費者被害や虐待問題等の情報を発信し、未然に予防できる地域作りや解決策を会得するために、成年後見制度等の権利擁護について学ぶ機会を増やす ・定期的開催する圏域内の主任介護支援専門員を中心とした連絡会の中で、インフォーマルサービスを中心とした情報交換を行う相互の協力体制や役割分担を確認しながら、地域ネットワーク作りを協働していく ・生活支援コーディネーターと連携協働し、地域課題・地域ニーズの把握に努め、情報が共有できることで、相互の活動分担や明確化を図りながら、より活動範囲を広げていく

町別高齢者人口等（日宇地域包括支援センター）

（H29.10.1現在 単位：人）

圏域	町名	人口	高齢者数	75歳以上	要介護	要支援
日宇	大塔町	2,359	591	267	68	46
	黒髪町	8,469	2,900	1,597	331	275
	日宇町	4,464	1,460	750	157	129
	大和町	4,684	1,280	694	216	111
	白岳町	2,908	660	326	84	70
	沖新町	392	1	1	0	1
	卸本町	799	176	76	29	12
	大岳台町	1,635	628	263	57	46
	もみじが丘町	2,701	424	207	52	36
	合計	28,411	8,120	4,181	994	726
総合計		28,411	8,120	4,181	994	726
日宇圏域高齢化率		28.6%				

平成30年度 佐世保市山澄地域包括支援センター事業計画

1. 地域包括支援センター事業計画について

佐世保市山澄地域包括支援センターは、地域包括支援センター運営事業を実施するにあたり、市が示す仕様書、事業実施マニュアル、運営方針を遵守するとともに、本事業計画の内容を踏まえ、事業を推進します。

2. 地域の現状と課題

担当地区	現状と課題
圏域共通	高齢化率が平均で33%と佐世保市平均より高い状況にあります。社会資源については、駅周辺や大宮周辺に多数の医療機関があります。介護サービス事業所についても、複数の施設があります。 交通の便も、バスが整備されていますが、階段や坂道等が多数あるため、足腰が悪くなると移動はタクシーを利用することが増え、経済的に負担が増え、外出を控えるなど閉じこもり傾向に繋がります。
潮見・白南風地区	もともと住宅地であった斜面地と駅周辺のマンションが存在します。潮見・白南風のどちらの圏域も高齢化率が33パーセントを超え、人口に対し世帯数も多い状況です。一世帯当たりの人数が潮見で1.9人、白南風で2.1人と佐世保市平均の2.4人より少ない状況にあります。高齢者の単身及び夫婦のみの世帯も多く存在します。駅前のマンションでは築年数の経つマンションも多く、住人の高齢化も問題となっています。マンションでは住人同士の繋がりが希薄になる傾向やオートロックにて外部からの安否確認が不十分となる傾向にあります。また、斜面地では買い物、住宅環境、世代交流、防災面への不安など問題を抱えています。各町内に公民館はありますが、移動が困難な高齢者も多くの課題を抱えています。
天神・福石・木風地区	大宮周辺の商店街と住宅地があり、マンションより戸建て住宅が多い状況です。大黒、東山、天神では住宅密集地が多く車の進入ができない地域も存在します。 数年前にスーパーが閉店となり、買い物の問題が取り上げられましたが、新たなスーパーやコンビニなどが出来、買い物問題は解消傾向にあります。 大黒、東山、十郎原と公営住宅もあり、高齢者の単身世帯や夫婦のみの世帯や、障害を抱える世帯など、高齢者本人のみではなく世帯の全体に問題を抱えるケースも多く見られる状況にあります。

3. 独自の取り組み事項

	業務	取り組み内容
包括的支援事業	包括的継続的ケアマネジメント業務	①窓口だけでの対応ではなく、訪問にて状況確認を行います。 ②状況確認後、CMとの課題の共有を行い自立支援型ケアマネジメントの支援を行います。 ③介護サービス終了者や対応の結果、未申請となった方達のフォローアップを行います。 ④地域ケア会議を通し、個別の事例検討や課題の共有を行い、CMの課題の解決にケアマネジメントの質の向上を目指します。
	介護予防活動の充実と地域支援	①現在活動発足している24団体への定期フォローを行い体力測定から虚弱高齢者の早期発見と地域との関係者と情報共有を図ります。 ②各地区自治協議会へのアプローチ、特に崎辺地区自治協議会では、6月から基幹型の介護予防の場作りを協働で行います。 ③独居高齢者と高齢世帯の把握を行い、相談に繋がっていないケースの発見に努めます。
	認知症相談への取り組み	①認知症疾患医療センターとの連携ケースから、ニーズ把握を行います。 ②初期の認知症の方のニーズ把握と支援を行います。把握したニーズに対しては、資源が開発できるよう働きかけを行います。

町別高齢者人口等（山澄地域包括支援センター）

(H29.10.1現在 単位：人)

圏域	町名	人口	高齢者数	75歳以上	要介護	要支援
木風	藤原町	1,853	655	348	89	68
	木風町	2,189	568	304	76	45
	稲荷町	1,183	455	242	60	37
	合計	5,225	1,678	894	225	150
	高齢化率	32.1%				
福石	大黒町	2,180	814	409	112	56
	東山町	980	392	210	39	41
	大宮町	1,354	573	307	63	59
	千尽町	490	69	22	10	4
	合計	5,004	1,848	948	224	160
	高齢化率	36.9%				
天神	東浜町	1,620	549	295	84	40
	十郎新町	1,384	480	237	42	28
	天神町	1,653	502	252	65	35
	天神1丁目	310	114	60	15	11
	天神2丁目	1,671	595	322	71	50
	天神3丁目	1,274	389	224	42	24
	天神4丁目	2,196	728	431	90	61
	天神5丁目	1,486	543	300	59	41
	崎辺町	51	0	0		
	合計	11,645	3,900	2,121	468	290
	高齢化率	33.5%				
白南風	白南風町	1,099	341	184	50	26
	三浦町	1,255	309	153	35	23
	山祇町	1,544	562	308	182	106
	須田尾町	1,781	627	321	74	59
	峰坂町	551	262	154	37	16
	合計	6,230	2,101	1,120	378	230
	高齢化率	33.7%				
潮見	若葉町	1,102	440	226	42	37
	潮見町	1,813	555	249	50	36
	福石町	680	203	106	18	14
	合計	3,595	1,198	581	110	87
	高齢化率	33.3%				
総合計		31,699	10,725	5,664	1,405	917
山澄圏域高齢化率		33.8%				

平成30年度 佐世保市中部地域包括支援センター事業計画

1. 地域包括支援センター事業計画について

佐世保市中部地域包括支援センターは、地域包括支援センター運営事業を実施するにあたり、市が示す仕様書、事業実施マニュアル、運営方針を遵守するとともに、本事業計画の内容を踏まえ、事業を推進します。

2. 地域の現状と課題

担当地区	現状と課題
光園地区	現状: 病院・買い物・交通・スポーツクラブなど生活環境は恵まれている地区。民生委員児童委員はじめ地域ケア会議に積極的に参加され、地域づくりの関心も高い。 課題: 既存のサロン活動は継続されているが、いきいき百歳体操の普及啓発継続し、新規のサロンの立ち上げに繋げていく。
戸尾地区	現状: 大型マンションの増加により、マンション住人の高齢者の状況把握が民生委員児童委員も難しい状況。集まりの場が少ない地区でもある。 課題: 自治会に入っていない高齢者の情報を関係機関と共有できるネットワークを深めていく。
山手地区	現状: 認知症に関連する活動を独自で取り組まれている。地域からの相談が少ない地域がある。いきいき百歳への関心が高まっているが、介護予防に関心がある地域差がある。 課題: 自発的・継続的に介護予防に取り組んでもらえるよう継続して地域に出向き普及啓発を行なう。気になる高齢者の情報を民生委員児童委員と共有し支援体制を深めていく。
小佐世保地区	現状: バスが通わない地域は外出の機会が減少傾向になっている。集まりの場は活発に継続的に活動している。地域づくりの関心も高まっている。 課題: 高齢化している団地へのアプローチ。

3. 独自の取り組み事項

	業務	取組み内容
包括的支援事業	地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援の視点に目を向けた「自立支援型地域個別ケア会議」を開催し、会議を通して地域の情報収集と問題把握に努め、社会資源の開発にも繋がります。 ・自立支援の視点を持ち支援できるよう、所内で定期的に事例検討会を行い、職員のスキルアップに努めます。 ・地域のケアマネジャーに地域ケア会議開催を働きかけ気軽に相談できる関係づくりに継続的に努めます。 ・全地区の民生委員児童委員定例会に参加し、ケース会議を随時行ない、地域の情報収集と問題把握を行い地域ケア会議に繋がります。
	介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・「いきいき百歳体操」「介護予防」の普及啓発活動を継続して行い、新規サロンの立ち上げ支援を行ないます。 ・既存サロン・グループが継続的に活動できるよう地域の事業所やリハビリの専門職の方などと連携をとり継続支援に努めます。 ・自主活動グループに積極的に出向き、地域活動の把握と関係づくりに取り組み、地域の特色を伸ばせるよう支援します。 ・協議体の一員として、生活コーディネーターと一緒に社会資源の把握と開発に繋がっていきます。
	認知症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・おれんじカフェの企画運営に継続して取り組み、気軽に利用できる場が提供できるよう関係機関と協議していきます。 ・認知症がある高齢者の権利擁護である成年後見制度の利用などの働きかけ、支援を行います。 ・認知症高齢者の増加により、行方不明になる恐れのある高齢者に対し佐世保市への「高齢者事前見守り登録」の働きかけと広報を行います。 ・住み慣れた地域で認知症サポーターが活躍してもらえるような関係づくりに努め、協働していけるような支援体制をつくります。

町別高齢者人口等（中部地域包括支援センター）

(H29.10.1現在 単位：人)

圏域	町名	人口	高齢者数	75歳以上	要介護	要支援
小佐世保	白木町	971	309	172	35	24
	小佐世保町	1,689	604	328	98	45
	須佐町	1,388	411	227	45	36
	高梨町	1,358	428	241	62	23
	合計	5,406	1,752	968	240	128
	高齢化率	32.4%				
戸尾	松川町	681	202	101	28	7
	戸尾町	826	260	149	35	25
	京坪町	519	109	50	13	18
	下京町	177	51	20	8	7
	上京町	77	31	17	5	4
	山県町	100	29	17	2	3
	塩浜町	523	104	46	15	8
	万津町	277	64	33	9	6
	新港町	9	1	0		
	合計	3,189	851	433	115	78
	高齢化率	26.7%				
光園	勝富町	549	139	53	15	5
	宮崎町	53	25	10	3	0
	島地町	450	85	45	12	5
	祇園町	1,206	272	142	66	37
	光月町	342	97	44	17	8
	高天町	485	150	76	21	13
	本島町	103	46	27	6	6
	島瀬町	716	93	39	12	2
	栄町	276	99	65	18	9
	常盤町	277	63	28	6	4
	湊町	229	64	41	20	3
	松浦町	122	26	12	6	0
	宮地町	15	11	5	5	0
	合計	4,823	1,170	587	207	92
	高齢化率	24.3%				
山手	熊野町	259	86	30	9	3
	花園町	769	267	159	38	36
	名切町	759	269	131	34	27
	山手町	1,020	394	222	48	32
	田代町	75	36	27	5	2
	烏帽子町	73	20	17	1	1
	松山町	915	332	167	34	29
	折橋町	1,912	587	321	86	30
	合計	5,782	1,991	1,074	255	160
	高齢化率	34.4%				
総合計		19,200	5,764	3,062	817	458
中部圏域高齢化率		30.0%				

平成30年度 佐世保市清水地域包括支援センター事業計画

1. 地域包括支援センター事業計画について

佐世保市清水地域包括支援センターは、地域包括支援センター運営事業を実施するにあたり、市が示す仕様書、事業実施マニュアル、運営方針を遵守するとともに、本事業計画の内容を踏まえ、事業を推進します。

2. 地域の現状と課題

担当地区	現状と課題
清水地区	中心部に位置しており坂が多く地域づくりが難しい地区だが、民生委員支援で基幹型サロンがあり、14町中老人会7ヶ所、サロン10ヶ所と全ての箇所で活発に活動している。百歳体操は6か所と半数残っているが介護予防啓発活動は前年度全町で実施できている。今後も関係づくりと啓発活動が必要である。
大久保地区	地区公民館がないため老人会長会がない。5町専用の五葉館でサロンがたち上がり、町内に公民館が無い所も月1回サロンで集いの場が17町のうち12町は立ち上がっている。週1回の百歳体操は現在1か所だが、サロンでの啓発活動により今後の地域の活性化が期待できる地区である。
金比良地区	中心部には近いが、坂が多く駐車場も無い所が多く空き家が多い地区である。民生委員支援で基幹型サロンは早くから立ち上がり定着している。町内のサロン・百歳体操は13町中4か所と前年度と変わらず、今後も継続して啓発活動と継続のためのサロン支援が必要である。
赤崎地区	6町のうちサロン5町が立ち上がり、2町は週1回の百歳体操を実施している。老人会も活発に活動しており、活気のある地区である。今後は月1回の所は週1回の百歳体操につなげていく。また関わっていない町へのアプローチが必要である。
九十九地区	中心部から離れており社会資源が限定される地区である。しかし地域のつながりが強く老人会は8町全部にあり、民生委員中心にサロン活動が活発である。まだサロンができていない2か所は実施予定で、百歳体操も3か所から、5か所予定している。今後も立ち上げ継続支援が必要である。

3. 独自の取り組み事項

	業務	取組み内容
包 括 的 支 援 事 業	地域包括ケアシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員情報交換会「ほっとタイム」を継続開催し、良好な関係構築とケースの困難化を防ぐ。 ・高齢者の自助努力で自包括独自の「応援シート」を地域支援体制づくりに活用する。 ・医療と介護の組織団体の研修会・交流会の参加や企画協力を行い、重度者でも医療から介護へスムーズな移行が行え、地域で切れ目のない医療と介護の連携体制の構築実現を図る。 ・「おれんじタイム」を窓口設置し、認知症高齢者の予防と課題解決で相談会・勉強会を行う。 ・認知症集いの場「おれんじカフェ」の定期開催を行う。 ・基幹型サロンの福推協共同支援と地域サロンの継続支援と介護予防の推進を行う。
	地域のニーズに応じた業務	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のリーダー(民生委員・老人会・自治会も含む)や専門職で構成された支援チーム(レインボー)との交流会(サロンフェス)や勉強会(サロンタイム)を実施し、住民主体の自主活動グループの立ち上げや活動継続のための支援を行う。 ・地域の集いの場への参加や高齢者宅への訪問を行い、民生委員など地域からの情報を元に認知症や独居高齢者の把握を行い適切な支援を行う。 ・地域のサロンや百歳体操のフォロー支援を引き続き行いながら高齢者の生活状況を通して地域の把握を行い、サポーターとなりうる人材の情報収集も行っていく。
	地域ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の定期的開催で多職種と顔の見える関係づくり、課題解決と地域づくりを行う。 ・独自の「応援シート」を自助努力で活用し高齢者自らが作れるネットワークづくりの支援を行う。 ・独自の「抑止カシート」で消費者被害の防止に努める。 ・ケア会議では引き続き更なる社会資源の開発を続けネットワークの構築を図る。 ・圏域主任ケアマネと合同で「主任ケアマネタイム」を実施し圏域ケアマネ対象に勉強会を行う。 ・サポーター養成講座を実施し認知症を地域で見守れる体制づくりを行う。 ・虐待防止活動や成年後見制度を出前講座で周知活動を行い、また適切な判断と支援を行う。 ・基幹型サロンで地域リーダー養成研修をコーディネーターと共同企画し支え合い体制をつくる。

町別高齢者人口等（清水地域包括支援センター）

（H29.10.1現在 単位：人）

圏域	町名	人口	高齢者数	75歳以上	要介護	要支援
清水	八幡町	691	220	117	41	24
	城山町	364	65	36	14	4
	宮田町	283	119	61	20	7
	俵町	913	313	161	47	18
	梅田町	989	309	167	47	26
	保立町	798	289	163	33	29
	石坂町	780	194	100	30	16
	清水町	356	148	69	10	15
	中通町	436	178	90	20	11
	福田町	431	216	125	29	18
	万徳町	341	107	66	18	10
	合計	6,382	2,158	1,155	309	178
	高齢化率	33.8%				
大久保	浜田町	209	59	26	8	4
	相生町	89	23	13	1	2
	谷郷町	318	85	39	9	8
	天満町	190	54	23	3	4
	高砂町	109	12	7	1	1
	木場田町	313	68	36	7	6
	比良町	586	191	98	17	14
	東大久保町	387	153	88	20	10
	西大久保町	210	85	54	10	9
	長尾町	107	51	28	6	2
	上町	287	94	52	10	8
	元町	276	52	25	6	1
	泉町	193	52	21	3	6
	園田町	55	20	11	4	1
	合計	3,329	999	521	105	76
高齢化率	30.0%					
金比良	平瀬町	1,863	0	0		
	立神町	17	0	0		
	矢岳町	699	307	169	33	37
	今福町	872	325	171	36	23
	金比良町	461	211	105	34	18
	御船町	796	313	163	54	23
	鶺鴒渡越町	316	168	98	23	10
	神島町	696	267	133	39	18
	合計	5,720	1,591	839	219	129
	高齢化率	27.8%				
赤崎	小島町	882	432	227	60	43
	赤崎町	3,079	1,086	586	147	99
	鹿子前町	3,073	857	396	118	57
	合計	7,034	2,375	1,209	325	199
高齢化率	33.8%					
九十九	庵浦町	327	145	75	15	18
	野崎町	184	64	28	11	1
	俵ヶ浦町	400	196	130	57	14
	下船越町	219	94	39	13	4
	船越町	2,316	775	353	77	64
	合計	3,446	1,274	625	173	101
	高齢化率	37.0%				
総合計	25,911	8,397	4,349	1,131	683	
清水圏域高齢化率	32.4%					

平成30年度 佐世保市大野地域包括支援センター事業計画

1. 地域包括支援センター事業計画について

佐世保市大野地域包括支援センターは、地域包括支援センター運営事業を実施するにあたり、市が示す仕様書、事業実施マニュアル、運営方針を遵守するとともに、本事業計画の内容を踏まえ、事業を推進します。

2. 地域の現状と課題

担当地区	現状と課題
春日地区	春日地区は全8町で形成されている地区であり、高齢化率も36.1%と担当圏域内では最も高く、介護保険サービスを利用している人は要支援認定者の約7割となっている。その中で、いきいき百歳体操を中心とした活動に継続的に取り組んでいるのは8町中3町と少なく、地域の受け皿づくりが開拓できていない現状がある。その一方で、春日地区公民館における生涯学習や趣味活動、桜木町、春日2組公民館の健康体操など、以前より継続的に行われている地域活動もある。また、前年度より取り組んで来た桜木団地こまらん隊においては、地域による見守り支援も継続されており、来年度は買い物などのさらなる生活支援サービスの向上に向けて支援していく方針である。今年度は、これまで行われてきた地域の活動をより開かれたものにし、更なる受け皿作りが出来るよう、公民館長・自治会長、民生委員と協働していく必要がある。
大野地区	大野地区はH18年度より地域コミュニティ推進事業のモデル地区となっており、市内先駆けて自治協作りに取り組んでこられた地区である。しかし、地域のリーダーの高齢化により次の時代を担う後継者作りの課題が出てきており、隠れた人材の発掘や、新たなリーダー養成の必要性が感じられる地域である。大野地区の人口は担当圏域の3分の2を占めるが、サロンや集まりの場が構築されている地域がまだ9カ所と少なく、介護保険の受け皿となる資源の開発が求められる。また、今まであまりアプローチ出来ていない、自治協議会とも連携し、今後新たに設置される生活支援コーディネーターや社会福祉協議会、更には社会福祉法人等とも協働することで、新たな集まりの場の構築と人材育成を行う。
柚木地区	柚木地区は山間部に住む高齢者が多く、高齢化率も35.8%と高い。また介護保険サービス利用率も申請者の82%を超える割合でサービス需要のある地域である。H29年度は民生委員児童委員や自治会長との連携を経て、6か所の新規サロンの立ち上げに関わることが出来た。但し、農家を生業としている方が多いため、次の担い手となる中年期や前期高年期の獲得が難しく、開催回数の増加とサロン内容の充実、場の継続が今後の課題である。中には、ボランティア精神にあふれる有志によるサロンの立ち上げも行われている。また地理的な要因で、公民館へ集まること自体が困難な方もおられ、参加できる方が限られていることから、交通手段の確立や山間部に孤立する高齢者の把握と対応が今後の課題である。

3. 独自の取り組み事項

	業務	取り組み内容
包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント	<p>①H29年度に引き続き、各町内にある公民館の自主活動等の状況を把握し、社会資源台帳を作成する。(春日:5か所、大野:22か所、柚木:18か所)台帳に関する情報は生活支援コーディネーターと共有し、地域課題の発掘に努める。</p> <p>②これまで未開拓となっていた地区(大野・柚木地区の市営・県営団地、桜木町、春日町)へ地域の受け皿となる公民館・サロン活動の普及を行う。</p> <p>③いきいき百歳体操をはじめとする活動を月1回以上行っている団体に対し、活動運営に携わるリーダーの養成等を行い、活動回数の増加を図る。また、週1回の公民館活動を行っている団体に対し、活動内容のステップアップを図る。</p> <p>④いきいき百歳体操を活動基礎コースとし、地域の特徴、参加者の活動量に応じた中級コースの開催・開拓を検討する。</p> <p>⑤活動のフォローアップ体制として、活動内容を充実させるためのマニュアル冊子の作成、地域の介護事業所・医療機関との連携を図り、活動のマンネリ化防止・地域ネットワークの構築を図る。</p> <p>⑥ますます元気教室卒業生の追跡調査を行い、現在介護保険サービスの利用状況などの把握をし、介護保険の申請状況や地域に必要なとされる課題抽出を図る。</p>
	権利擁護	<p>① 社会福祉士の広報誌(権利擁護についての内容を出来るだけわかりやすく記載)を今年も作成・掲載依頼(2ヶ月1回)を継続して行っており、10か所への掲載依頼している。来年度は掲載箇所を増やし(病院・スーパー・施設など)、地域の方へ権利擁護への啓発や理解につなげていきたい。</p> <p>② 権利擁護に関しては、今年度は後見制度の申し立ての支援はなかったが、保佐人の辞任・選任の申し立ての支援を行った。また、次年度も地域のケアマネ向けに成年後見制度等の勉強会を開催し権利擁護の普及に努める。今後は、もっと地域に出向き、成年後見制度や高齢者の権利擁護・消費生活トラブルに関する講話などを行い、制度への理解や普及に努めていきたい。また、地域の相談にも随時対応する。</p> <p>③虐待ケースについては、今年度より佐世保市による連携フローの変更があり、今までよりも迅速に対応出来るよう、虐待ケース発生時には、直ぐに所内でケース会議を開催し、相談員での情報共有とアセスメントを実施した。次年度は、ケースに備え、職員のアセスメント能力向上の為の勉強会や連携強化も図り、適切な対応が出来るよう研修等にも積極的に参加し自己研鑽にも努める。</p>
	総合相談	<p>①窓口相談に必要な資料・認知症・権利擁護・施設や社会資源紹介パンフレットなど、提供できるように整理し充実を図っていく。</p> <p>②必要な人に必要なサービスが提供できるように窓口や訪問をして生活状況の確認をする。また新規申請の相談には出来るだけ自宅訪問し、その適正化を図る。</p> <p>③サービス利用のない気になる方については電話連絡や定期訪問を行い、現状把握や新たなニーズの早期発見に努める。</p>
	包括的・継続的ケアマネジメント	<p>① 新規相談は三職種で訪問し生活状況を確認する。困難事例はケース会議を行い、三職種で情報共有し、関係者会議に繋げるかの判断を行う。</p> <p>②地域の介護支援専門員とティーミーティングを行い社会資源の情報提供や共有を行う。</p> <p>③地域個別ケア会議で自立支援のケアマネジメントを行うための前準備として、包括内にて承認会議を元にプレゼンテーションとアセスメント能力の向上を図り、地域個別ケア会議にスムーズに繋げる。</p> <p>④担当地区の民生委員児童委員との勉強会を開催する。</p> <p>⑤関係者会議・地域ケア会議にて困難事例解決やネットワーク構築・地域課題解決に繋げていく。</p> <p>⑥地域のケアマネの相談に対応し、今後も後方支援を継続していく。</p>

町別高齢者人口等（大野地域包括支援センター）

(H29.10.1現在 単位：人)

圏域	町名	人口	高齢者数	75歳以上	要介護	要支援
春日	春日町	1,531	583	320	78	44
	桜木町	1,940	661	328	83	54
	赤木町	138	38	20	5	2
	横尾町	2,745	1,012	534	123	62
	合計	6,354	2,294	1,202	289	162
	高齢化率	36.1%				
大野	瀬戸越町	659	266	139	26	18
	田原町	1,066	305	162	31	19
	原分町	3,548	1,226	639	134	79
	松瀬町	2,543	902	489	95	59
	知見寺町	183	74	44	7	7
	大野町	2,323	542	289	56	34
	矢峰町	1,659	424	221	57	32
	松原町	1,164	346	156	20	27
	楠木町	283	94	50	11	6
	瀬戸越1丁目	1,618	280	159	45	10
	瀬戸越2丁目	1,435	533	276	63	43
	瀬戸越3丁目	1,074	274	123	25	18
	瀬戸越4丁目	1,716	419	214	29	26
	合計	19,271	5,685	2,961	599	378
	高齢化率	29.5%				
柚木	柚木元町	823	252	108	30	16
	筒井町	268	92	42	17	3
	柚木町	1,437	531	267	77	41
	小舟町	635	221	109	31	13
	上柚木町	492	187	102	31	12
	潜木町	160	64	32	11	4
	高花町	148	54	32	7	9
	川谷町	32	16	9	0	1
	里美町	129	50	41	5	13
	戸ヶ倉町	14	8	4		
	下宇戸町	59	26	14	1	5
	合計	4,197	1,501	760	210	117
	高齢化率	35.8%				
総合計		29,822	9,480	4,923	1,098	657
大野圏域高齢化率		31.8%				

平成30年度 佐世保市相浦地域包括支援センター事業計画

1. 地域包括支援センター事業計画について

佐世保市相浦地域包括支援センターは、地域包括支援センター運営事業を実施するにあたり、市が示す仕様書、事業実施マニュアル、運営方針を遵守するとともに、本事業計画の内容を踏まえ、事業を推進します。

2. 地域の現状と課題

担当地区	現状と課題
小佐々地区	他地区よりもサロンなどが少なく「これから」継続的な活動を作り出せればという地域。昨年度は、社協と福推協、民協が連携しながら交流の場を開催し、今後も自主活動を通じたまちづくりをしようとしている。地域が取り組もうとしている活動に対し、協力してくれる事業所とのつながりを作るなど後方支援していく。
中里皆瀬地区	サロン開催やグループでのゴミ出し支援など、生活支援体制整備モデル事業を活かした活動ができています。生活支援コーディネーターや自治協との連携、地域の事業所にも協力を働きかけることで、地域の中の自主的な活動を継続活性化させていきたい。
日野・相浦・高島・浅子地区	ふれあいネットワーク数は減少しているが、いきいき100歳体操実施グループが新しく立ち上がり始めた。民生委員協議会主催で事例検討会を行うなど高齢者支援にも熱心で連携も図りやすい。基幹型サロンの立ち上げや支援者となるリーダー養成をすることで、各地域のモデル的な活動を進めたい。
黒島地区	地域全体が高齢化し、住民同士の支え合いが難しくなっている状況。介護保険サービスに頼らざるを得ないケースや島外での生活を検討しなければならないケースへの支援を住民、民生委員、診療所、高齢者支援センター、行政と連携を図りながら対応していく。

3. 独自の取り組み事項

	業務	取り組み内容
包 括 的 支 援 事 業	地域の協力体制・ネットワークの強化（地域の福祉力を底上げする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中にある自主活動や各事業所、社会資源（企業なども含む）などをお互いに有効に活用できるような働きかけを積極的にすることで「地域の福祉力」を向上します。 ・地域の介護支援専門員からの個別相談を受けたり、介護支援専門員と共催でケアマネ交流会（年4回開催予定）を開くことで、地域ニーズの対応力向上に努めます。 ・地域ケア会議や事例検討会を通じて、多職種協働の支援を行うとともに地域のネットワークを実効性のあるものとして定着させます。
	介護予防の推進（サービスのみならず自立した生活に向けた支援をする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・「いきいき100歳体操」など住民の自主的な介護予防活動の立ち上げや自主活動グループ交流会を開くなど、サービスや教室を卒業した後の受け皿としての継続支援にも努めます。 ・多職種や関係機関と連携し、予防的視点で高齢者の生活を支えるよう検討をします。 ・生活機能低下がみられるなど介護予防や生活支援が必要な高齢者には、適切な地域の自主活動や総合事業、サービスなどに繋がります。
	医療との連携（専門性を活かした地域への働きかけをしてもらえるような関係を作る。）	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院などで高齢者の状態や生活環境が変わった場合においても、その変化に応じて安定した生活ができるよう医療機関との連携やネットワークづくりに取り組みます。 ・昨年までに地域包括ケア会議や個別地域ケア会議に参加して頂いた医療機関や薬局と積極的に連携し、地域へも情報発信（サロンでの講話など）してもらえよう関係づくりに努めます。 ・在宅介護・在宅医療の連携推進を目的とした会議や研修に積極的に参加します。

町別高齢者人口等（相浦地域包括支援センター）

（H29.10.1現在 単位：人）

圏域	町名	人口	高齢者数	75歳以上	要介護	要支援
日野	椎木町	1,850	449	213	42	30
	日野町	4,819	1,130	591	152	71
	大潟町	5,935	915	420	91	75
	長坂町	1,031	350	185	58	22
	星和台町	868	380	163	28	21
	合計	14,503	3,224	1,572	371	219
	高齢化率	22.2%				
相浦	小野町	1,071	249	100	21	8
	母ヶ浦町	1,434	316	138	27	20
	高島町	185	63	38	5	4
	光町	240	57	30	13	3
	棚方町	2,790	811	273	155	78
	相浦町	2,468	793	433	133	61
	愛宕町	705	158	66	15	14
	上相浦町	559	101	50	14	3
	木宮町	370	85	42	17	4
	川下町	839	226	119	23	14
	新田町	2,867	654	249	55	40
	竹辺町	641	173	88	19	9
	黒島町	474	251	174	23	35
	合計	14,643	3,937	1,800	520	293
	高齢化率	26.9%				
中里皆瀬	中里町	1,550	428	197	55	22
	吉岡町	2,589	802	437	133	51
	下本山町	1,296	373	174	46	19
	上本山町	2,091	268	131	33	22
	八の久保町	141	59	25	10	4
	岳野町	101	46	27	10	1
	皆瀬町	1,548	416	208	53	33
	野中町	1,395	478	262	80	35
	菰田町	120	44	28	4	4
	十文野町	122	51	21	6	1
	牧の地町	433	152	65	14	9
	踊石町	265	110	72	21	3
	白仁田町	207	81	45	14	7
	小川内町	135	60	32	9	4
	合計	11,993	3,368	1,724	488	215
高齢化率	28.1%					
小佐々	小佐々町	6,232	1,960	1,002	295	121
	高齢化率	31.5%				
浅子	浅子町	370	115	61	21	10
	高齢化率	31.1%				
総合計		47,741	12,604	6,159	1,695	858
相浦圏域高齢化率		26.4%				

平成30年度 佐世保市吉井地域包括支援センター事業計画

1. 地域包括支援センター事業計画について

佐世保市吉井地域包括支援センターは、地域包括支援センター運営事業を実施するにあたり、市が示す仕様書、事業実施マニュアル、運営方針を遵守するとともに、本事業計画の内容を踏まえ、事業を推進します。

2. 地域の現状と課題

担当地区	現状と課題
吉井地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴としては、炭鉱住宅等古い住宅が多くあり、4町の中でも独居高齢者の生活不安に関する相談が多い地区です。 ・山間部では買い物や受診に困る方が多く、公共交通機関が少ない地区です。 ・介護保険サービス事業所が多数あり、自主活動の立ち上がりが少ない地区です。現在、介護予防に取り組む自主活動グループは3団体あります。
世知原地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴としては、山間部が多く4町の中でも高齢化率が高い地区です。また、買い物難民や受診困難者が多く、介護拒否や閉じこもりの方の相談が多い地区です。 ・福祉関係者で組織している団体(グリーンハートせちばる)があり、地域を支える活動を意欲的に行っている地区です。「福祉まつり」、「街頭相談」等が定期的に行われており、地域力が強く、連帯感が感じられます。 ・介護予防の取り組みについては、山間部が多く高齢化・過疎化が進行しているため、自主活動グループに参加したくても交通の便が悪く、参加できないケースが多いのが課題です。現在、介護予防に取り組む自主活動グループは3団体あります。
江迎地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴としては、地域の拠点となる病院があり、病院からの相談が多い地区です。 ・山間部では、車以外の交通手段が無く、買い物や病院受診に困る方が多い地区です。 ・介護予防の取り組みについては、民生委員や地区長がリーダーとなり、閉じこもり傾向にある人を誘っていることが強みです。現在、介護予防に取り組む自主活動グループは9団体あり、4町の中では一番多い地区です。
鹿町地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴としては、公共交通機関が少なく、沿岸部、及び山間部に住む高齢者が多いため、買い物や受診等に困る方が多く、生活不安の相談が多い地区です。 ・地域の社会資源や介護保険サービス事業所の数が少ない地区です。 ・介護予防の取り組みについては、民生委員がリーダーとなり、閉じこもり傾向の人を誘っているため活性化しています。さらに、活動場所になっている公民館3か所では、活動時間に合わせて某スーパーの移動販売の拠点となるため、今後「買い物難民の支援」と「介護予防」の相乗効果が期待できます。現在、介護予防に取り組む自主活動グループは5団体あります。

3. 独自の取り組み事項

	業務	取り組み内容
包 括 的 支 援 事 業	相談窓口の対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の対応について、初回に適正なアセスメントを実施することで、本人のニーズに応じた対応(介護保険・総合事業の申請、地域の自主活動への参加等)を行い、自立支援に目を向けた支援ができるように窓口業務を強化していきます。そのために、介護保険のみならず、保健・医療・福祉サービスや生活支援サービス、さらに地域支え合い活動を含めた地域における様々な社会資源に結びつけ、各関係機関との連携を進めていきます。
	介護予防について	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の自主活動グループの立ち上げ支援を行います。また、介護予防に継続して取り組めるように、地域の状況を把握しながら、参加者の方が自主的に活動が継続できるよう支援に努めていきます。 ・社会的活動(ボランティア)やサポーターを希望する高齢者の把握を行い、地域の活動につなげていきます。 ・現在実施中の「いきいき百歳体操」や「嚙下体操」の効果を検証し、現状と課題および介護予防の効果を、地域の高齢者に包括の広報誌や、健康教育等を行いながら周知していきます。
	地域包括ケアシステムの構築について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア会議を開催し、介護事業者、医療機関、民生委員、生活支援コーディネーターをはじめとする地域の協力団体、ボランティア団体等との連携を図ります。また、地域において高齢者が生活する上で解決すべき課題を一緒に考え、適切なサービス、支援につなげていく仕組み作りに取り組み、地域包括ケアシステムの構築に努めていきます。 ・多職種の方が参加できるような会議の開催及び、顔が見える関係が作れるような交流会や勉強会を実施していき、ネットワーク作りを努めていきます。

町別高齢者人口等（吉井地域包括支援センター）

（H29.10.1現在 単位：人）

圏域	町名	人口	高齢者数	75歳以上	要介護	要支援
吉井	吉井町	5,568	1,679	803	247	96
	高齢化率	30.2%				
	世知原町	3,374	1,424	753	246	136
	高齢化率	42.2%				
	江迎町	5,411	1,885	1,023	281	104
	高齢化率	34.8%				
	鹿町町	4,679	1,725	920	256	106
	高齢化率	36.9%				
合計		19,033	6,713	3,499	1,030	442
吉井圏域高齢化率		35.3%				

平成30年度 佐世保市宇久地域包括支援センター事業計画

1. 地域包括支援センター事業計画について

佐世保市宇久地域包括支援センターは、地域包括支援センター運営事業を実施するにあたり、市が示す仕様書、事業実施マニュアル、運営方針を遵守するとともに、本事業計画の内容を踏まえ、事業を推進します。

2. 地域の現状と課題

担当地区	現状と課題
宇久地区	宇久圏域では27地区の小部落で出来ているが、空家も多くなり若年層の流出で半分以上が高齢者となっている。平港中心に商業施設、病院、学校、警察、消防署、行政センター・保健センター、福祉施設・福祉事業所等主要な機関が集中している。港から離れた地域から通院や行政センターの利用をするためには、居住している近隣の方の支援や限られた公共バスの利用しかないため、要支援者を対象にした外出支援サービスや社協利用者対象の福祉有償サービスで支援を行っている。民生委員児童委員定例会には参加をしており、老人会には研修等で連携を取っている。新上五島警察とは協定を結び高齢者の見守りと情報共有ができています。その他関係機関とも顔の見える関係が出来ているが、次世代の担い手不足や不足する社会資源をどのように工夫して補っていくかが今後続く課題となっている。

3. 独自の取り組み事項

	業務	取組み内容
包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント	<p>地域の高齢者が、要介護状態となることを予防するとともに、心身の状況、環境や地域の実情に応じて多様なサービスや地域資源・地縁関係等、多様な視点を持って、高齢者それぞれにあった自立した支援を目指し、住み慣れた地域で暮らしを続けられるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態把握訪問を実施、自立支援の視点に目を向けた適切なサービスの検討 ・地域内事業者及び社協との連携し、住民主体の通いの場への支援推進 ・社会資源の把握・活用 ・ニュースポーツ交流会の開催による集まりの場活動継続を推進 ・高齢者の社会参加やボランティアの育成による介護予防の推進
	包括的継続的ケアマネジメント	<p>地域の高齢者がその人らしく住み慣れた地域で暮らせるよう、生活の課題に応じた社会資源の活用や介護事業者・医療機関・地域等、多職種相互の協働体制や連携を図り、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントの支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の保険・医療・福祉サービスが連携できる環境づくり ・町内会や商店街等の有効な社会資源との連携や情報収集 ・困難事例等の同行訪問、指導、助言 ・個別のケース会議を通して地域課題を見つける。地域ケア会議の開催 ・認知症疾患センターや認知症地域支援推進員との連携
	認知症対応	<p>島外だけではなく島内においても認知高齢者の見守りネットワークが不可欠になっている。認知症になっても自宅や地域で安心して生活ができるよう関係機関と連携していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症地域支援員や医療疾患センターと連携を図り、認知症高齢者の予防や課題解決のための支援を検討し地域課題として関係機関と連携し支援していく ・専門職だけではなく地域の方を含め、認知症の勉強会やサポーター養成講座を開催し認知症に関する対応等の情報の提供をしていく ・佐世保市認知症高齢者見守り登録を基礎に宇久独自の認知症高齢者見守り対応策を検討 ・気軽に立ち寄れる地域コミュニティサロン(ふれあい喫茶)を作る

町別高齢者人口等（宇久地域包括支援センター）

（H29.10.1現在 単位：人）

圏域	町名	人口	高齢者数	75歳以上	要介護	要支援
宇久	宇久町	2,144	1,145	691	178	73
宇久圏域高齢化率		53.4%				